

「左義長in鳴門西」と昔の遊び



平成27年1月11日（日）、鳴門町高島の鳴門西小学校運動場で、しめ縄などの正月飾りを燃やす恒例行事「左義長」が行われました。また、併せて昔の遊びを体験できるコーナーも設けられ、子どもたちは興味深そうに昔の遊びを体験していました。

お天気にも恵まれ、たくさんの方が集まるにぎやかな催しとなりました。



各家庭から正月飾りなどが持ち寄られました。



竹竿の先にお餅をぶらさげて、点火を待ちます。



この火で焼いたおもちを食べると、1年間健康でいられると言われています。



子供から大人まで、多くの方が参加しました。



焼きたてのお餅が入ったぜんざいのお接待で、心も体も温まります。



左義長は、「左糰杖(さぎちょう)」という昔の遊びがその由来であるという説があるそうです。